



東京都立立川学園 学校通信⑦

令和7年 10月2日

立川だより

東京都立立川学園
校長 市川 裕二
東京都立川市栄町 1-15-7
電話 042-523-1358



引き取り訓練



10月になります。

この原稿を書いているのは、9月18日（木）になりますが、本日の気温は、35度を超えるようです。朝から蒸し暑い一日となりそうですが、夕方からは雨の予報。その後、暑さはひと段落するとのこと。もう、10月になりますが、暑い日が続く、湿度も高く体調を崩す幼児・児童・生徒もいるのではないかと心配です。

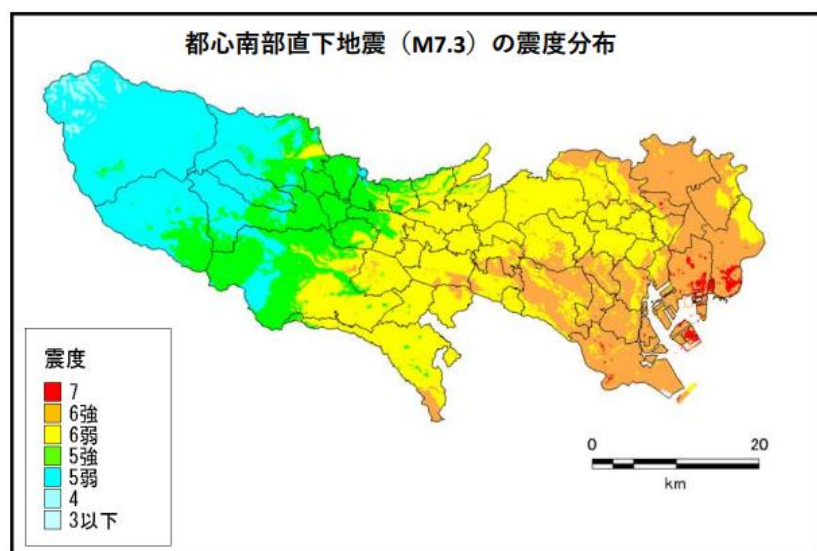
さて、9月8日（月）に、総合防災訓練を実施しました。幼児・児童・生徒の引き取りについての御協力ありがとうございました。再確認をいたしますが、この訓練の主な目的は首都直下型地震の発生を想定している訓練です。

令和4年5月に東京都防災会議が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定」では、次のように記載されています。

○ 都内で最大規模の被害が想定される地震で、震度6強以上の範囲は区部の約6割に広がる。

○ 建物被害は194,431棟、死者は6,148人と想定

こうした災害は、本当に起こってほしくない災害です。しかしながら、一方、いつ起こってもおかしくない災害とも言えます。この想定では、東京都の震度分布も想定していま



す。この図を見ると本校の所在地は、震度6弱を想定しています。大きな被害が出ないことを祈りますが、その場合は、先日の訓練の想定通り、「地震はあったが、交通機関も動き、電気、水も確保されている」となります。しかし、被害が大きくなれば、交通機関も、電気、水道も止まるかもしれません。

学校は、そうした災害に備え、幼児・児童・生徒が3日間は、学校にとどまれるように、非常食等の備蓄をしております。発災後、状況が落ち着けば、保護者の方に、学校に来ていただき、幼児・児童・生徒の引き取りをお願いすることになります。そうした状況への対応についても、御家庭で御相談しておいていただくと幸いです。